

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成28年10月11日掲載)

貸出と予約の開始は**10月11日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**10月18日(火曜日)**です

『アベノミクスの農政改革とは』
農政ジャーナリストの会／編集
農政ジャーナリストの会 刊 農林統計協会(発売)
「アベノミクスの農政改革とは」を特集。自民党が考えるアベノミクス農政の狙いや、農業委員会組織・制度見直しなどについて論じる。地方記者の眼、農政の焦点なども収録。 唐津市の農民作家、山下 惣一氏の掲載がされている。
請求番号：611.1/ A,13

『亡者は囁く』
吉田 恭教／著
南雲堂 刊
盲目のバイオリニストの依頼で、深水弥生という女性の消息を探し始めた探偵の榎野康平。弥生の恋人が平和島事件の被害者だと知った彼は、刑事の東條有紀協力を求める。「可視(み)える」に続く、私立探偵・榎野シリーズ。 著者は佐賀県出身
請求番号：F /Y,86

『全国宇宙科学館ガイド』
Space i<宇宙航空研究開発機構・日本宇宙フォーラム>/監修 恒星社厚生閣編集部/編
恒星社厚生閣 刊
全国の宇宙、宇宙開発に関する展示がある科学館76館を紹介。見所展示・体験コーナー、開館時間、休館日、入館料、アクセスなどを掲載する。的川泰宣らによるコラムも充実。データ:2016年6月現在。 佐賀県立宇宙科学館の掲載がされている。
請求番号：538.9/ Z,3

『遺跡でたどる邪馬台国論争』
中村 俊介／著
同成社 刊
邪馬台国論争の争点を提供した数多の遺跡を訪ねながら、最新の発掘成果と研究動向をわかりやすく紹介。論争を通して弥生社会の実像に肉薄する。『朝日新聞』西部本社版文化面連載に加筆し書籍化。 吉野ヶ里遺跡の掲載がされている。
請求番号：210.27/ N,37

[➡バックナンバーはこちら](#)

[➡インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の到着資料一覧

[→ 詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。
郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)